

# 将来を見据えた復興創生による 次世代へ残す輝くまちづくり

町民の皆様、あけましておめでとうございませう。

日ごろからの町政全般に対する温かいご理解と絶大なるご協力で厚くお礼申し上げます。

昨年は、4月14日から発生した熊本地震が、本町にも未曾有の被害をもたらしました。

余震の回数は4,000回を超え、住家では半数以上となる約2,500棟が被害に見舞われ、農地をはじめとする産業基盤や交通インフラ、学校などの公共施設においても大きく損傷するなど、全国でも過去に例を見ない規模の震災の傷跡は大きなものとなりました。

町としては、町民の皆様が一刻も早く安全・安心に暮らす環境を復旧・復興できることを目指して、り災証明書発行に向けた家屋被害調査をいち早く実施し、

続く応急仮設住宅建設および家屋解体などに県下で最初に着手いたしました。

また、り災証明書発行を円滑に開始し、震災復興住宅の建設計画にも着手するなど、迅速に震災関連業務を執り行いました。今後も優先課題と捉えて、総力を挙げて迅速かつ強力で震災対策を講じていくこととしています。

今回の震災対策については、私がマニフェストで掲げた「再生から創生へ・次世代へ残す輝く郷づくり」を正に基本とし、単なる復旧としての「再生」にはとどまらず、将来を見据え更なる本町の発展を目指した復興対策としての「創生」を同時に講じていくことが重要と考えております。

その対策指針として、昨年11月に県内で先駆けて、「将来（みらい）を想い・魅力（たから）を活かす・ともに紡ぐ」次世代への架け橋」を基本理念に掲げた



甲佐町長 奥名 克美

「町震災復興計画」を策定しました。本町の早期復旧・復興を図っていくために、この計画を町民の皆様と共有し、協働によるまちづくりを推進して参ります。

今後、町民と行政が今日までの苦難を共に乗り越え培われてきた絆と、町外の方から頂いた支援に感謝しつつ、町民の皆様から寄せられた大きな期待に応えるためにも町職員と一丸となり、共に汗を流して、創生を見据えた復興によ

り「甲佐町に住んで良かった」と誇りと愛着を持って心から口にしていただけ、まちづくりを、強い信念とあふれる情熱で実現して参ります。

終わりに、町民の皆様、また議会の皆様には、本年も変わらぬご指導とご支援の程をよろしくお願い申し上げます。とにも、町民の皆様にとりまして輝かしい1年となることを祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 活力あふれる 強く元気な まちに向けて

甲佐町議会議長  
緒方 哲哉

町民の皆様、明けましておめでとうございませう。甲佐町議会を代表し謹んで新春のご挨拶を申し上げます。皆様方には、新たな期待と希望をもって輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、熊本地震並びに豪雨災害により多数の家屋などが被災し、大規模な土砂崩れなどにより町内の広い範囲にわたる農地や道路、河川などに甚大な被害をもたらされ、被災された皆様は災害復旧に努める日々だったと思われませう。

お亡くなりになられた方や被災された町民の皆様は改めまして、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。今後も厳しい状況ではありますが、本町議会では、一日も早い住民の生活安定と地域の復旧・復興のため、町執行部とともに全力を尽くし取り組んで参ります。



本町において基幹産業である農業は、長引く景気低迷、後継者問題さらに震災による被害も重なり極めて厳しい状況であり、また商店街の疲弊など商工業もさなる危機を迎えていると感じています。このような中、町震災復興計画の施策も推進しながら、農業を中心とした産業の振興や緑川を活かした環境政策、子育て世代に優しい政策、教育政策の充実による甲佐の魅力を活かした定住政策などの取り組みを進めていく必要があると考えております。町議会としましては、町執行部とともに震災復興計画にもあります「活力あふれる強く元気なまち」に向けて全力で取り組み、議会運営については、町民の皆様の負託にこたえられるよう新たな気持ちをもって取り組んで参りますので、今後とも、ご指導並びにご支援をよろしくお願いいたします。町民の皆様にとりまして、災害からの復興に向け、さらなる実り多き年でありますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

## 教育の復興と 更なる未来へ

甲佐町教育長  
蔵田 勇治

明けまして、おめでとうございませう。謹んで新年の御挨拶を申し上げます。学校教育、社会教育、生涯体育・スポーツ活動、芸術文化の振興など本町教育行政に温かい御理解と御支援、御協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。さて、振り返りますと昨年は1月の大雪と寒波、4月から続いた熊本地震、6月の豪雨と本町は今まで経験したことのない自然災害に見舞われました。被災された皆様に改めて心からのお見舞いを申し上げますと共に、一日も早く安息の日が戻りますことをお祈り申し上げます。昨年の大災害は、学校教育施設や社会教育施設、町内の文化財等々に甚大な被害をもたらされ、教育活動の推進にも少なからぬ支障を生じさせました。また、あの恐怖や過酷な経験は私たちの心にいまだ癒しきれない記憶として残っています。



子どもたちの幼い心の震えに思いを馳せると、胸が締め付けられる思いがいたします。「町震災復興計画」には教育施設の迅速な復旧と教育・文化活動の再開と共に、災害の経験に深く学び、経験を生かした防災・減災教育を充実させていく事が謳われています。また、子どもたちの心のケアにもしっかりと取り組んでいかねばなりません。今、学校教育では「地域と共にある学校」が強く押し進められ、学校、保護者、地域の人々が子どもたちの育ちを共に支える「協働」が求められています。この「協働」は住みよい地域づくりにも繋がるものです。町民の皆さんが、地域の子どもたちを見守り育む「協働」にお力添えをいただければ幸いです。年頭にあたり、町民の皆様と共に本町の教育の更なる充実に取り組んでいく決意を述べさせていただきますと共に、今年が皆様にとって幸多き年になりますことを祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。